

くい文化センターだより 高原のそよ風

第 242 号

三原市久井町和草
1883番地6
TEL：0847-32-7138
FAX：0847-32-8406

新年あけましておめでとうございます

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中はくい文化センターの活動にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本年も地域の皆様の学習や交流の場として、より一層利用していただけるよう取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

主催講座の作品紹介【物づくり8選】



全体のデザインを考え、木を切る・削るなどの工程後、仕上げにえごま油を塗り、オリジナルの「ミニトレー」を作りました。



ペペロミア、ドラセナ、シエフレウなどの観葉植物を一つ選び、丸めた土台の土の周りに苔を均等に寄せ、最後に、苔がずれないように苔を寄せた土台にタコ糸をしっかりと巻きつけて「苔玉」を作りました。

令和8年度団体登録のお願い

くい文化センターを定期的に利用（新規）される団体は、団体登録が必要です。申請書に必要事項を記入し、提出してください。よろしくお願いいたします。

受付期間：1月5日（月）から2月27日（金）まで

申請書類：①団体登録利用申請書 ②団体登録カード ③会則

④くい文化センター利用申請書 ⑤くい文化センター使用料減免申請書



久井町の筋原に広島県の天然記念物オガタマノキがあります。

オガタマノキは、温帯の関東南部から亜熱帯の南西諸島・沖縄まで分布する常緑広葉樹です。和名は神をお招きする「招霊（おきたま）」に由来し神社によく植えられ、時にはサカキの代用にされることもあります。また、ミカドアゲハの食樹です。

旧筋原村の割庄屋であった所有者は、明治4年（1871年）に8月に起こった百姓一揆によって母屋を焼かれました。その際オガタマノキの幹も焼けて損傷しました。現在は、新たな損傷被覆材が力強く肥大成長し、樹勢も回復しています。

（三原市教育委員会編集・発行「三原市の文化財」参照）

久井図書館から



本の紹介

『黒い蜻蛉 小説小泉八雲』ジーン・パスリー/著 小宮由/訳 佼成出版社
明治時代の作家、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の半生をつづった伝記小説です。

外国人のハーンがなぜ日本へ来ることになったのか、日本ではどんな暮らしをしていたのか、妻セツとどのようにして知り合い家庭を築いていったのか。今まで知ることがなかったハーンが歩いてきた道や人となり、が史実に基づいて書かれています。日本人にとってごく自然で当たり前だと感じていた伝統文化や習慣などが、外国の人からみるとそうではないということに気づかされる作品でもあります。みなさんもハーンの生きざまを通して日本のよさを探してみてもはどうでしょうか。

*おはなし会 1月24日（土）13:30～14:00

*休館日 年始（1月1日～1月4日）、毎週火曜日、祝日（12日）

※年明けは、1月5日（月）10時から開館します。

久井中学校 生徒の作品展示

ぜひご鑑賞ください。

場所 くい文化センター
ギャラリー

期間 1月21日（水）
～2月24日（火）

時間 8:30～
17:00



QRコードから、
三原市内各施設の
「現在や過去の生涯学習だより」がご覧いただけます。



《編集日記 金木犀》

冬は風邪、インフルエンザなど感染症が流行る季節です。皆様ご承知のとおり、手洗いやうがい、マスクの着用といった基本的な予防対策に加えて、食事とても大事です。

喉や鼻の粘膜を丈夫にするビタミンAは、ニンジン、ホウレンソウ、小松菜などの緑黄色野菜に含まれています。また、キャベツ、ジャガイモ、みかんなどに含まれるビタミンCは、ウイルスに対する抵抗力を高めてくれるそうです。

【問合わせ】生涯学習相談員 坂田まで

令和7年度



久井コミセンだより

1月号

〒722-1303 三原市久井町下津1397番地
電話・FAX 0847-32-7139

No. 106号



新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、久井コミセンにご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

11月30日に開催しました「久井コミセン生涯学習発表会」も、皆様のご協力のもと盛大に行うことができました。

また、6月の暑い中清掃作業・避難訓練にも多数ご参加いただきありがとうございました。

今年も、皆様の生涯学習の場としてご利用いただき、地域の交流の場として久井コミセンの運営をしてみたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方の本年のご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

久井コミセン運営委員長

岡 富雄



久井コミセン生涯学習発表会 感動をありがとうございました

11月30日（日）、開催を祝っているかのような快晴の中、久井コミセンでは今年も「令和7年度久井コミセン生涯学習発表会」を開催しました。

どの舞台もどの展示も、日頃の学習の充実ぶりがひしひしと伝わってくる見事な発表で、観覧された皆さんは口々に「すごいですね。」「まるでプロの人みたい。」と感動されていました。

発表に参加してくださった皆様、ご来館の皆様、そして、準備や進行に関わってくださった実行委員の皆様、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



満員御礼！



玄関前(2022 薔薇の育て方講座)

庄巻の舞台発表(10 団体)



珠玉の展示発表(11 団体)



門松で玄関が華やかに

今年も新しい年にふさわしく玄関に立派な門松がお目見えしました。昨年末、久井コミセン管理指導員の広近哲二さんが心を込めて設置してくださり、玄関前が一段と華やかになりました。



自主講座団体登録更新手続きについて

令和8年度団体登録更新の時期となりました。更新の手続きに必要な申請用紙は、自主講座のファイルに入れておきますので、必要事項をご記入のうえ、期日までにご提出ください。よろしくお願いいたします。ご不明の点があれば久井コミセンにお問い合わせください。

提出期日 令和8年1月30日(金)

久井コミセンへのお問い合わせ・ご相談は、こちらをお願いします。

☎ 0847-32-7139 崎田・代畑

このQRコードから三原市内各施設の生涯学習だよりがご覧いただけます。



久井南コミセンだより



〒722-1416 三原市久井町山中野 1337 番地
電話・FAX 0847-32-6316

令和8年
1月1日発行
第224号

新年あけましておめでとうございます。

地域人口の50%が65歳以上の集落を「限界集落」と言われています。中野・坂井原地域も同様の状況となってきています。

限界集落を活性化させる方法をインターネットで調べてみると、①地域資源の有効活用②移転・移住の促進③生活基盤の確保④デジタル技術の活用⑤地域間連携の強化とありました。どれも単独ではできそうにありません。しかし、地域資源を本地域には何があるかと考えてみると「久井南コミセン」ではないかと考えます。なぜなら、高齢者の交流の場として活用できる多くの講座があります。毎年新しい講座も実施されています。講座に参加し住民同士が顔を合わせ、和気あいあいとした雰囲気の中で交流が深められる本地域最大の地域資源ではないでしょうか。

「人生100年時代」です。好きな講座を選んで参加し、お互いに会話を楽しみながら頑張って講座を続けていきましょう。

2026年も始まりました。久井南コミセンが起点となり、住みやすい地域になることを祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。

令和8年1月1日

久井南コミュニティセンター

運営委員会委員長 野村 定見



令和8年度 団体登録のご案内

令和8年度に久井南コミセン・屋内運動場を定期利用される団体（継続・新規）は、団体登録が必要です。

団体登録利用申請書に必要事項を記入してご提出ください。

申請書類等詳しくは、久井南コミセンへお問い合わせください。

申請書提出先	・・・	久井南コミセン
提出期限	・・・	1月30日（金）



中野地区自主防災訓練 開催！



11月16日（日）

災害から命を守るための防災訓練が実施されました。まず三原消防署久井出張所からAEDの使い方の説明と実演がありました。

続いて、三原市危機管理課から地震など災害に対して家庭での備えの重要性や避難場所の確認など詳しい説明がありました。

過去の災害から学んだ多くのことを生かし、日頃からの備えを万全にすることの大切さを学んだ訓練となりました。



サロン活動紹介

～楽 笑 会～

ミニ花かごが完成！

11月18日（火）

重安町子さんを講師に迎え、フラワーアレンジメントの講習会を開催しました。

ミニかごの中のオアシスに、ストック、ガーベラ、けいとう、スプレー菊などこの季節の花を次々と活けていきました。

短時間に個性あふれる素敵な作品が完成しました。

活動日は毎月第3火曜日です。

詳しくは、久井南コミセンまでお問い合わせください。



新たな年がスタートしました。

日増しに寒さも厳しくなってきましたが、心温まる1年を過ごしていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

★講座の申込み・お問い合わせは
久井南コミセン生涯学習相談員



山本・鍛冶まで



たより HP

三原市内各施設の
生涯学習だよりがご覧
いただけます。

